

# 平成21年4月 東京地区百貨店売上高概況

平成21年5月18日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,320億円余
2. 前年同月比	-11.9% (14か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-10.8%(87.6%) : 非店頭-19.3%(12.4%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 28店 (平成21年3月対比±0社0店)
5. 総店舗面積	972,052㎡ (前年同月比:-1.7%)
6. 総従業員数	18,611人 (前年同月比:-4.5%)
7. 3か月移動平均値	9-11月 -6.9%、10-12月 -8.9%、11-1月 -9.2%、 12-2月 -10.5%、1-3月 -11.4%、2-4月 -12.2%

[参考] 平成20年4月の売上高増減率は-0.7% (店舗数調整後)

### 【4月売上の特徴】

- (1) 都内各店で活発な催事展開が行われた結果、入店客数についてはほとんどの店舗で前年並みを維持した。皇室関連催事、下取りセール、外国展などを開催した店舗では連日大盛況であった。
- (2) 低迷の続くファッション分野では、衣料品が依然厳しい状況にある反面、服飾雑貨については比較的堅調さを取り戻しつつある。
- (3) 晴天続きの天候要因によるUV対策と母の日を目前に控えたギフト需要が重なり、スカーフやストールが例年以上に好調であった。
- (4) ブライダル需要の高まりから婦人アクセサリーに動きが見られ、前年実績をクリアする店舗も出ている。
- (5) 東京地区でも、売上減少幅は3月(-12.9%)と比較して1ポイント改善した。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比-0.5日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)  
①増加した: 4店、②変化なし: 5店、③減少した: 11店、④不明: 3店
- (3) 3月歳時記 (春物商戦、花まつり、昭和の日) の売上 (同上)  
①増加した: 0店、②変化なし: 3店、③減少した: 7店、④不明: 13店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)  
①増加する: 0店、②変化なし: 10店、③減少する: 10店、④不明: 3店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2009年04月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
<b>総 額</b>	<b>132,012,853</b>	<b>100.0</b>	<b>-11.9</b>
紳士服・洋品	10,607,108	8.0	-15.9
婦人服・洋品	30,586,219	23.2	-15.1
子供服・洋品	3,011,147	2.3	-9.0
その他衣料品	3,199,157	2.4	-13.1
■ 衣 料 品	<b>47,403,631</b>	<b>35.9</b>	<b>-14.8</b>
■ 身のまわり品	<b>19,249,885</b>	<b>14.6</b>	<b>-12.0</b>
化粧品	6,950,222	5.3	-7.4
美術・宝飾・貴金属	6,727,170	5.1	-23.8
その他雑貨	7,442,088	5.6	-20.5
■ 雑 貨	<b>21,119,480</b>	<b>16.0</b>	<b>-17.8</b>
家 具	2,276,404	1.7	-28.4
家 電	601,514	0.5	-8.5
その他家庭用品	4,868,453	3.7	-16.1
■ 家 庭 用 品	<b>7,746,371</b>	<b>5.9</b>	<b>-19.7</b>
生 鮮 食 品	4,416,728	3.3	-2.3
菓 子	7,186,131	5.4	-2.0
惣 菜	6,169,635	4.7	-9.1
その他食料品	9,042,649	6.8	-9.8
■ 食 料 品	<b>26,815,143</b>	<b>20.3</b>	<b>-6.5</b>
食 堂 喫 茶	3,538,945	2.7	-6.6
サ ー ビ ス	2,324,132	1.8	3.5
そ の 他	3,815,266	2.9	61.7

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。  
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率 (%)
商品券	2,995,650 千円	-24.1
従業員数	18,611 人	-4.5
店舗面積	972,052 m <sup>2</sup>	-1.7
営業日数	30.0 日	前年 29.5 日

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、全品目がマイナスとなった。衣料品と身のまわり品は先月より改善しており、紳士服・洋品、婦人服・洋品、子供服・洋品、その他衣料品、化粧品、生鮮食品、菓子、惣菜も同様の動きとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	-11.9	—	14か月連続マイナス
紳士服・洋品	-15.9	-1.3	13か月連続マイナス
婦人服・洋品	-15.1	-3.6	9か月連続マイナス
子供服・洋品	-9.0	-0.2	8か月連続マイナス
その他衣料品	-13.1	-0.3	12か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	-14.8	-5.5	9か月連続マイナス
<b>身のまわり品</b>	-12.0	-1.8	13か月連続マイナス
化粧品	-7.4	-0.4	5か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-23.8	-1.4	8か月連続マイナス*
その他雑貨	-20.5	-1.3	11か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	-17.8	-3.1	12か月連続マイナス
家具	-28.4	-0.6	13か月連続マイナス
家電	-8.5	0.0	16か月連続マイナス
その他家庭用品	-16.1	-0.6	11か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	-19.7	-1.3	11か月連続マイナス
生鮮食品	-2.3	-0.1	8か月連続マイナス*
菓子	-2.0	-0.1	3か月連続マイナス*
惣菜	-9.1	-0.4	13か月連続マイナス*
その他食料品	-9.8	-0.7	3か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	-6.5	-1.2	7か月連続マイナス
食堂喫茶	-6.6	-0.2	6か月連続マイナス
サービス	3.5	0.1	6か月連続プラス
<b>その他</b>	61.7	1.0	8か月連続プラス
<b>商品券</b>	-24.1	-0.6	14か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田・佐藤まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>